

# 令和7年度 立川市立立川第六中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	◎自らすすんで学ぶ人 ○健康で心豊かな人 ○責任を果たす人
---------	-------------------------------------

生徒に育成を目指す資質・能力	教科や学年全体に共通する取組
○基礎学力の向上 ○主体的に学ぶ態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>「めあて、探究、振り返り」を徹底する。</li> <li>家庭学習ノート及びデジタル教材を活用した自主家庭学習を推進する。</li> <li>「伝え合い、支え合い、学び合う」協働的な学習活動を通して、主体的な学習の場を確保する。</li> </ul>

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組 (学習活動など)
国語	○言葉による見方・考え方を働きかせ、社会に必要な国語について、その特質を正確に理解して適切に表現する言語能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明的文章を比較して読み、理解したことや考えたことについて検討したり、文章にまとめたりする言語活動を取り入れる。</li> <li>文学的文章を読む際、他者との教え合いなどの協働的な学びの充実を図り、自分の考えを言葉で表現できるようにする。</li> <li>個別最適な学びを目指し、授業の中でICT機器を積極的に活用し、情報の分類・整理を生徒が適切に行えるようにする。</li> </ul>
社会	○社会的な見方・考え方を働きかせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な資質・能力 ○グローバル化を続ける社会に必要な対応力・共生力・発信力	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学習に取り組めるような課題を設定し、課題を追究する学習を行えるようにする。</li> <li>タブレットPCや電子黒板などを活用して、資料等の読み取りや意見の共有を行うことで、学び合い・深め合いを実現する。</li> <li>新聞やインターネットを活用し、時事問題に触れる機会を多く設定する。</li> </ul>
数学	○学習過程を振り返って考えたり、発展的に考えたりする力 ○数学的な見方・考え方を働きかせて事象を数学的に解釈し、数学的に処理する技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考查・休み明けテストの結果等をもとに習熟度別クラス編成を行う。</li> <li>学習の振り返りをする機会を定期的に設定し、学習内容をどのように生かすことができるかを記述できるようにする。</li> <li>学習のめあてや流れを明示し、見通しをもって学習に取り組むことができるようとする。</li> </ul>
理科	○自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働きかせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究する力	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器等を効果的に活用しながら、観察・実験・話し合い活動等を行うことで、基本的な知識・技能を身に付けられるようにする。</li> <li>本時のねらいと流れを提示し、見通しをもって学習に取り組むようとする。</li> <li>主体的に自然の事物・現象に親しむ生徒を育成するために、既習内容と生活体験とを結び付ける活動を増やし、さらには学んだことを日常生活に生かそうとする態度を高める。</li> </ul>

音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽の技能</li> <li>○音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学ぶ態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の歌唱における発声・リコーダーの音階練習を繰り返し行うことで基礎力をつけ、自信をもって演奏できるようする。</li> <li>・毎時間の学習のめあてや学習の流れをしっかり明示することで、見通しをもって学習に取り組ませる。曲に対する思いや考えを互いに伝え合い、振り返りをして確認することで次回への学習に確実につなげていく。</li> <li>・ICT 機器を効果的に活用することで、授業に興味をもって楽しんで取り組ませていく。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>○美術の鑑賞や知識の定着を通して、作品制作のアイデア生成に役立て、完成度を上げるために技能</li> <li>○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術を愛好する心情と豊かな情操</li> <li>○アイデアを工夫し、作品の完成に向かっての計画性、対応の能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考作品を掲示し、課題作品（実技表現課題）に沿った内容の知識、鑑賞のプリント、ワークシート、タブレット PC の活用を通して取り組み、美術用語、美術様式の共通理解を図る。</li> <li>・表現課題は、評価基準を設定することで授業や作品完成に見通しをもって取り組めるようする。</li> <li>・机間（巡回）指導を通して、個に応じた指導の充実を図る。</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健体育の基礎的な知識や技能を習得することにより、生涯にわたって運動に親しむとともに健康を保ったり高めたりし、体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度</li> <li>○主体的に課題を発見し、解決に向けて考えるとともに、考えたことを他者に伝える力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてや学習の流れを明確にし、見通しをもたせ授業を展開する。</li> <li>・体力向上、特に持久力の向上につながるプログラムについて、苦手な生徒でも意欲的に取り組むことができるプログラムを工夫する。</li> <li>・まとめの時間を確保し、授業のめあてを達成できたかを振り返らせ、個人の変容に気付けるようにする。</li> <li>・ICT 機器果的に活用し、生徒が学習内容と自分の課題とを関連付けられるようにする。</li> </ul>
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活の営みや技術に係る見方・考え方を働きかせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 単位時間や単元ごとのめあてを明確にし、目標をもって主体的に学ぶ力を養う。</li> <li>・学習内容の定着を図るために、生活との関わりをもたせた学習課題を設定できるようする。</li> <li>・基本となる道具や動作の習得を意識させ、技能向上を図る。</li> <li>・ICT 機器いることで視覚的、体験的な活動を充実させ、創造力の育成を図る。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出文法を用いた文の形・意味・用法を理解し、様々な場面で活用することができるコミュニケーション能力</li> <li>○日常的な話題や社会的な問題の概要や要点を捉え、既習事項を生かしながら、自分の意見を英語で表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドを活用し、授業のめあてや流れを明確にすることで、生徒が毎回の授業に目標をもって取り組めるようする。</li> <li>・帶学習の時間に会話をする活動を実施し、さらにコミュニケーションテストに活用して、身に付くまで繰り返し学習する。</li> <li>・ATL と自由に会話できる時間設定を行い、コミュニケーション活動の内容を工夫することで、既習事項を活用して英語で発表したり伝え合ったりする力の向上を図る。</li> </ul>